

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: こども安全課
 担当名: 児童相談所整備担当
 内線: 3362

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S92	朝霞児童相談所(仮称)・一時保護所整備費(継続事業第2年次支出額)			一般会計	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費	朝霞児童相談所(仮称)・一時保護所整備費(継続事業第2年次支出額)		
事業期間	令和5年度～ 令和6年度	根拠 法令	児童福祉法			針路 分野施策	04 0403	子育てに希望が持てる社会の実現 児童虐待防止・社会的養育の充実	SDGsゴール 16 SDGsターゲット 16-2	
1 事業概要 8番目の県設置の児童相談所(一時保護所併設)を朝霞市内に整備する。 実績が見込みを下回ったことによる減 県債から繰入金への財源更正 継続費総額 2,781,398千円 → 2,453,472千円 (令和5年度 149,298千円) (令和6年度 2,632,100千円 → 2,304,174千円)				5 事業説明 (1)事業内容 8番目の県設置の児童相談所(一時保護所併設)を朝霞市内に整備する。 (2)事業計画 令和5年度 建設工事 令和6年度 建設工事 令和7年度 開所 (3)事業効果 【活動指標(アウトプット)】 令和7年度開所 【成果指標(アウトカム)】 ア 管轄人口が100万人を超える川越児童相談所、所沢児童相談所の管轄人口の減少 イ 一時保護所定員の増加(150人→180人) ※熊谷児相整備を含む ウ 川越児童相談所・所沢児童相談所の気積不足の解消 (4)県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 新たな児童相談所の新設により、関係機関との迅速な連携体制が構築される (5)その他 施設概要 ・2階建て ・延床面積4,005㎡ ・一時保護所定員30名 (6)補正予算の概要 実績が見込みを下回ったことによる減 県債から繰入金への財源更正						
2 事業主体及び負担区分 (国9/10・県1/10)(県10/10)										
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)社会福祉費(細目)児童福祉費 (細切)児童相談所費										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 人件費: 9,500×3人=28,500千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		繰入金	県債							
決定額	△327,926	21,591	△333,000					△16,517	2,304,174	
現計額	2,632,100	988,893	1,625,000					18,207		

事業内訳書

事業名	朝霞児童相談所（仮称）・一時保護所整備費（継続事業第2年次支出額）		
単位事業名	朝霞児童相談所（仮称）・一時保護所整備費（継続事業第2年次支出額）	予算額	△ 327,926千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ シラコバト長寿社会福祉基金繰入金	21,591	—	
県債・ 民生債	△333,000	—	児童相談所整備事業債
一般財源	△16,517	—	
合計	△327,926	—	

○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△117	—	建設工事打合せ旅費の減
需用費	△6	—	建設工事事務消耗品の減
役務費	△174	—	建設工事事務通信費等の減
使用料及び賃借料	△81	—	建設工事打合せ経費の減

単位事業名	朝霞児童相談所（仮称）・一時保護所整備費（継続事業第2年次支出額）	予算額	△ 327,926千円
-------	-----------------------------------	-----	-------------

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
工事請負費	△313,241	—	建設工事費の減
負担金、補助及び交付金	△14,307	—	水道加入者負担金の減
合計	△327,926	—	